

○安田理事

皆さん、おはようございます。先ほどご紹介ありました、山形大学の安田でございます。本日もお忙しいところ、AP シンポジウムに多くの皆さんがお集まりいただき、まずもって御礼申し上げるところでございます。主催者を代表しまして、ひとことごあいさつさせていただきます。まず最初に、川嶋先生はじめ大阪大学の教職員の皆さま、本日のシンポジウムの開催にあたり、ご尽力いただきましたことを心から御礼申し上げるところでございます。どうもありがとうございます。

このシンポジウム、今年で3年目でございます。きょう、先ほどプログラムが若干変わるということでございますけれども、大卒、川嶋先生のほうから基調講演いただいて、そのあと大阪大学の教授の皆さんから話題提供していただく。そして先ほどからご紹介ありましたように、山形大学のAPの絡みでの基盤力、最後に基盤力テストの紹介をさせていただきます。最後に総合討論と。こういった三部構成でやる予定でございます。

釈迦に説法ではございますが、教育は国の礎（いしずえ）でございます。その国にどういった10代・20代の若者がいるかによって、その国の将来は決まる。そう言っても過言ではないかと思えます。きょうのシンポジウムのテーマ・キーワードは、「教育の質の保証」でございます。そういった意味におきましても、教育の質の保証は、教育の中でも中心的なものだと思っております。限られた時間ではございますけれども、参加者の皆様からも多面的な意見をいただき、実り多い一日であることを期待したいところでございます。

せっかくですので、山形大学の教育改革についてご紹介させていただきます。昨年度からやっております基盤力テストの紹介で見られると思えますけれども、山形大学では3つの基盤力を学生諸君に身につけてもらうように改革しているところでございます。大学に入ってくる学生は専門を学ぶことを重視しているところですので、これを学問基盤力テストで測定する。2つ目は、無駄のない人生をいかに生きるか。人間として生きる基盤力でございます。山形大学ではこれを人間力と位置づけ、実践地域基盤力テストで成果の可視化を試みています。3つ目が、この国際化グローバル化の中で、いかに国際人として生きるか、これを国際基盤力テストで測定しようとしています。この3つの基盤力を軸に、学生がどの程度身につけたのかを測定しようとしているところです。

ご存じの方も多いと思いますが、東大の前身、昌平黌（しょうへいこう）の塾長、佐藤一斎先生は、『言志四録』という書の中で、「三学戒」3つの学びの戒め、三学戒という信念を示しておられます。それを見ますと、「少（わか）くして学べば壯にして為すあり 壯にして学べば老いて衰えず 老いて学べば死して朽ちず」、こういった三学戒を示しておられるところでございますけれども、山形大学の教育改革、基盤力テストで振り返りながら、いろんな人生を生涯学ぶ習慣をつける、そういったところを狙っています。

話はちょっと変わりますが、「和をもって尊しとなす」と聖徳太子は、結ぶ縁と書いて結縁（けちえん）と呼びます。縁の重要性を結縁という言葉で述べておられます。縁に関しましては、縁尋機妙（えんじんきみょう）という言葉がございます。いい縁がますますいい縁をつなげていく、その様は妙（たえ）なるもの、妙（みょう）であるものということでございます。本日もお集まりの皆さんも、縁によってこのシンポジウムに参加いただいたかと思えます。ぜひこのシンポジウムで、いい縁をさらに結んでいただければありがたい、そういうふうにいるところでございます。最後になりましたが、再度、共催いただいております、大阪大学の教職員の皆さん、それから集まっていた、すべての

皆さん、そして企画運営等をやっていただいています、山形大学の教職員の皆さんに、心から御礼申し上げます。甚だ簡単ではございますけれども、ごあいさつに代えさせていただきます。本日はひとつよろしくお願ひ申し上げます。

○司会

安田理事りがとうございました。では、この後の報告に用います配布資料の確認をさせていただきます。受付にてお受け取りいただきました封筒の中に、配布資料をセットさせていただいております。上3枚は、それぞれ1枚ものになっており、タイトル、プログラム、そして配布資料一覧とアンケートのお願いです。アンケートに関しましては、総合ディスカッションの後にもお願いいたしますけれども、今回、ウェブアンケートとさせていただきますので、お手持ちのスマホまたはパソコンなどから、ご回答いただけますよう、予めご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、資料の順番といたしましては、恐らく当初のプログラムにありました、川嶋先生の基調講演の資料、それから山下先生・和嶋先生に話題提供をお願いしております、関係の資料がございます。そして最後に、少し分厚めになっておりますけれども、山形大学の取り組みを紹介した資料が構成されております。不足等ございましたら、適宜差し替えますので、ご確認の上、お申し付け願えますでしょうか。この段階で、落丁はございませんでしょうか。大丈夫のようですね。

では、次にプログラムに関しまして、先ほど川嶋先生からもご説明いただきましたように、当初、皆さまのお手元にあるプログラムのように、午前中に大阪大学様の取り組みも含め、基調講演とセットで組ませていただいております。これを、変更させていただきます、山形大学の取り組みを先にご報告した後に、午後に基調講演と大阪大学様の話題提供というふうに構成を変えさせていただきます。その点、あらかじめご了承ください。